

<参考用>

仕 様 書

名 称	リチウムイオン蓄電システム
型 式	YRW-2750-200SH-15PV-435JH4
仕様書番号	No.019340

株式会社 **YAMABISHI**
YAMABISHI Corporation

1. システム構成

名 称	型 式	仕 様	数 量
双方向電源盤	YRW-2750-200SH-15PV	3φ3W 420V 200kW	1
MPPT(DC/DCコンバータ)ユニット	上記に含む	DC700V 350A 150kW	1
リチウムイオン蓄電池盤	YRW-2750-290JH4	DC667.94V 290.472kWh	1
リチウムイオン蓄電池盤	YRW-2750-145JH4	DC667.94V 145.236kWh	1

2. システム仕様

項 目	仕 様	
機 能	WEB見える化システム	
周辺条件	設 置 場 所	屋外
	動 作 周 囲 温 度	-10~40℃
	湿 度	15~85% (結露なきこと)
	雰 囲 気	塩害、塵埃、腐食性ガス等がなきこと
	標 高	1000m 以下
	振 動	なきこと
	氷 雪	扉の開閉に影響がないこと 吸気面に氷雪の侵入がないこと
外観※1	外 形 寸 法	- (W) × - (D) × - + - - (H)
	質 量	- kg
	塗 装 色	-
	操作パネル位置	前面扉内部
	配線接続端子位置	前面扉内下部、及び、背面扉内
付属品	完成図書	仕様書、外形図、単線図、取扱説明書、試験・検査成績書×1部
	接 続 配 線	YRWシリーズ双方向電源盤との盤間制御接続配線を添付 ※盤間接続配線に主線は付属しておりません。 ※通常、YRWシリーズ双方向電源盤の系統側接続配線、負荷側接続配線は付属しておりません。

※1 詳細は別紙 外形図、個別の仕様書を参照ください。

<参考用>

仕 様 書

名 称	双方向電源盤	
型 式	双方向 電源	YRW-2750-200SH-15PV
	MPPT DC/DC	YRW-150PV 1ユニット
仕 様 書 番 号	No.-	

株式会社 **YAMABISHI**
YAMABISHI Corporation

1. 概要 / 特徴

- 無停電電源装置(UPS)や回生型バッテリー充放電装置で培ったデジタル電源制御技術により、蓄電池－太陽光パネル－系統－負荷間で柔軟な電力ルーティングを構築致します。
- 商用健全時は双方向電源が系統連系モードとなり、蓄電池⇄商用系統間で充放電を行います。また重要負荷には商用系統が直接供給されます。
- 商用停電時は系統を切離した後、無瞬断※1,※2,※3で双方向電源が自立運転に切り替わり、重要負荷へ安定した電力を供給します。
また、本機は出力系統に蓄電池空調用の盤クーラーを搭載しています。供給可能な電流は定格電流からクーラーの電流を差し引いた電流となります。
- 系統連系モード時は予め設定した運用モード(ピークカット、ピークシフト、SmartSC等)により充放電を行います。運用モードの設定はローカル表示器で行います。また、上位からの通信指令により充放電を行うことも可能です。なお、系統への逆潮流※4を防ぐため、構内の負荷に合わせて放電電力をリミットします。(一般負荷を対象として受電点への逆潮流を防ぐ場合は、外部電力計測が必要です。)
- LAN経由のPCで運用実績を容易に視覚化できる「WEBみえる化システム」を標準搭載しています。ソフトウェアインストール不要で複数台のPCから同時にご覧いただくことも可能です。
- 絶縁トランスにより系統と蓄電池、及び、太陽光パネルは絶縁されており地絡事故などに対しても漏洩電流を防止します。また、直流地絡検知器を標準で装備しています。
- 本仕様書では弊社(YAMABISHI)製作部分についてのみ記載されております。

※1 無瞬断の定義は「電圧がゼロになる時間が1/4サイクル以下」(JEM-TR185,JEM-TR186)。

※2 停電、負荷状況によっては停電期間が単相2線品、または、単相3線品で1/2サイクルに及ぶ可能性があります。また負荷運転継続の確実性を保証するものではありません。

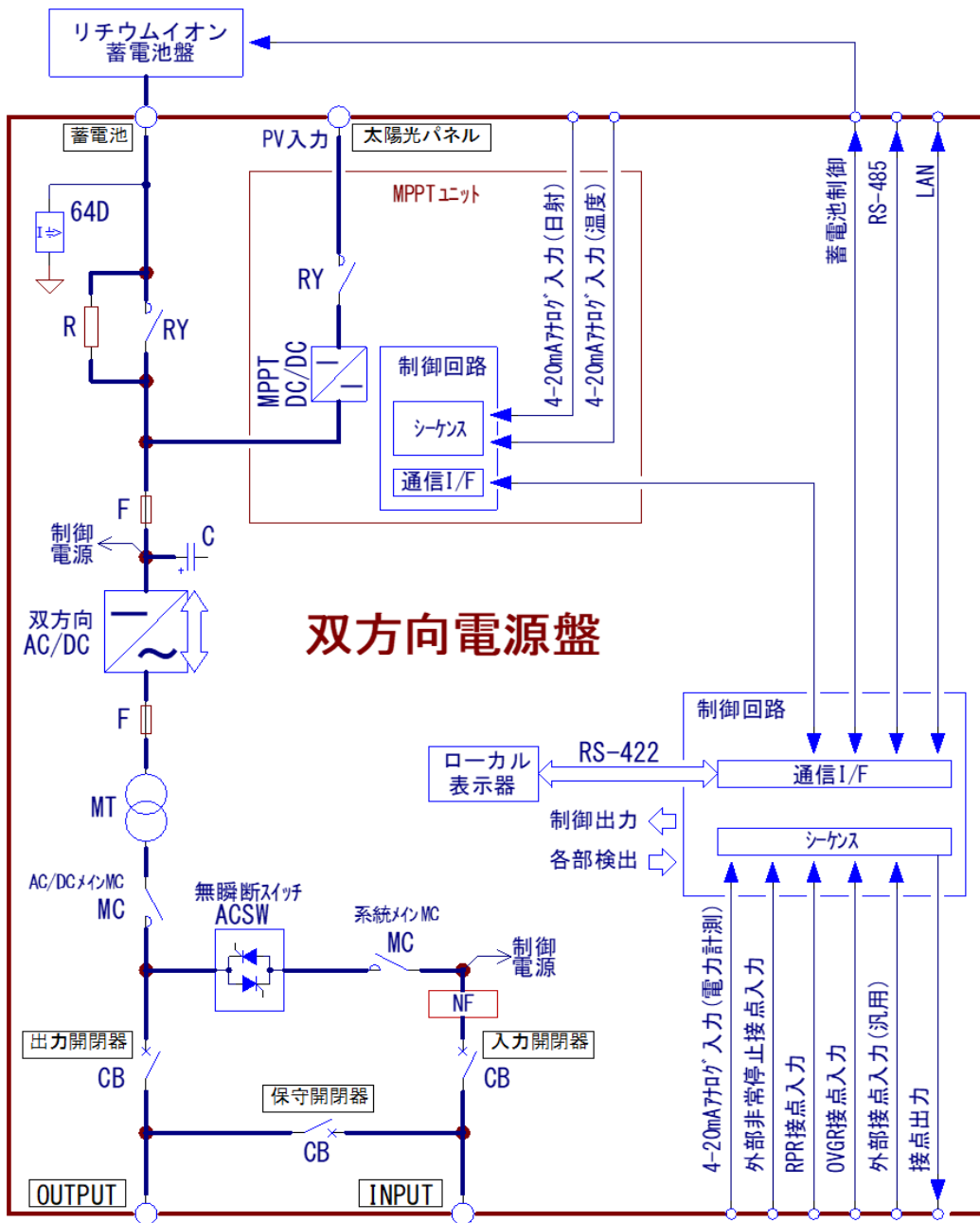
※3 電力会社との連系協議によってFRT(電圧・周波数)が適用される場合は無瞬断の切り替えに対応できません。なお、FRT(周波数のみ)が適用できる場合は、無瞬断切り替えが認められる場合があります。

※4 本蓄電システムの使用方法を系統への逆潮流なしとした場合、電力会社よりRPR(逆電力継電器)の設置を求められます。また、RPR動作信号を双方向電源盤に引き込む必要があります。(RPR/工事は見積もり範囲外です)

※5 最大電力点追従(MPPT)DC/DCコンバータユニットは工場出荷時のオプションです。

※ 高圧受電に連系させる場合は電力会社より受電キュービクル高圧受電側にOVGR(地絡過電圧継電器)の設置を求められます。また、OVGR動作信号を双方向電源盤に引き込む必要があります。(OVGR/工事は見積もり範囲外です)

2. ブロック図



3. 電気仕様

項 目		仕 様
系統連系時	定 格 電 力	200kW ※ 蓄電池バス側の蓄電池電圧と最大充放電電流により交流側電力が制限されます。
	相 数	三相3線
	定 格 電 圧	AC420V±10%
	定 格 周 波 数	50 / 60Hz ±5%
	力 率	0.95以上 (定格運転時)
	高調波電流含有率	総合: 5%以下 各次: 3%以下 (定格運転時/電圧波形歪なき場合)
	保 護 機 能	系統連系規程(JEAC9701-2019)準拠 〔系統過電圧(OVR)、系統不足電圧(UVR)、系統過周波数(OFR)〕 〔系統不足周波数(UFR)、単独運転検出(受動、能動)、逆電力(RPR)接点信号入力、地絡過電圧(OVGR)接点信号入力、電圧上昇抑制機能、FRT機能(電圧・周波数、又は周波数のみ)〕 ※ 異常時は解列用電磁接触器を開放
	運 用 モ ード	手動設定、ピークカット、ピークシフト、SmartSC、デマンド信号
	受電電力リミット	双方向充電電力と重要負荷電力の合計が双方向電源INPUT定格を超えた場合は充電電力が制限されます。
	逆潮流リミット	双方向放電電力が負荷の状況に応じて系統側に逆潮流しないように放電電力がリミットされます。 (受電点で計測される外部電力計測の信号が必要です) ※負荷の急変により短時間の逆潮流が発生する可能性があります。RPR設置時はこれが動作して一時的に連系運転が停止する場合があります。
双方向電源AC仕様	定 格 電 力	200kW ※ 蓄電池バス側の蓄電池電圧と最大放電電流により交流側電力が制限されます。
		275A ※ 本機は出力系統に蓄電池冷却用の盤クーラーを搭載しています。供給可能な電流はクーラーの始動電流23Aを差し引いた252Aとなります。
	定 格 電 流	
	定 格 電 圧	AC420V
	電 圧 精 度	定格電圧±1%以内 (検出点において)
	定 格 周 波 数	50 / 60Hz
	周 波 数 精 度	±0.01Hz以下 (停電時/自走中)
	電 圧 歪 率	総合: 2%以下 線形負荷において (定格負荷時)
		総合: 6%以下 非線形負荷において (定格負荷時)
	最大ピーク電流	定格電流実効値の1.8倍 (非線形負荷において)
	電 圧 過 渡 変 動	±5%以内 (無負荷⇄100%負荷 急変時)
	電圧過渡応答時間	50msec以内 (精度内復帰時間)
	保 護 機 能	過電圧保護、過電流保護、他装置内部保護

項 目		仕 様
蓄電池バス仕様	直流電圧範囲	DC500～750V
	充放電電流	充電時: 382Amax 放電時: 419Amax
	設定項目	充電側CV/CC設定、放電側CV/CC設定、SOCリミット
	保護機能	直流過電圧保護、直流不足電圧保護、直流過電流保護
MPPT仕様※1	定格電力/台数	150kW ユニット×1台
	PV過積載率	200%相当(太陽光パネル最大接続容量300kW相当×1) ※2
	PV運転電圧範囲	DC200～電池電圧範囲の下限電圧
		※電池電圧範囲の下限電圧は蓄電池盤の仕様書を参照 蓄電池電圧の制限がない場合、最大700Vまで入力可能
	PV入力電流範囲	0～350A
	出力電圧範囲	DC500～750V
保護機能	PV過電圧保護、PV不足電圧保護、PV過電流保護 出力過電圧保護、出力不足電圧保護	
系統遮断方式(停電時)	半導体(サイリスタ)+電磁接触器のハイブリッド方式	
停電時自立運転切替時間 ※3,※4	無瞬断 (FRT未適用、又は、FRT周波数のみ適用時)	
	5秒(FRT機能使用時)	
負荷側 [OUTPUT] 過負荷耐量	系統連系時	120%以内(1分間) 120%以上、500%以内(1サイクル)
	自立運転時	120%以内(1分間) 120%以上で定電流(電圧垂下5秒間)

※1 最大電力点追従(MPPT)DC/DCコンバータユニットは工場出荷時のオプションです。

※2 過積載率をご利用される太陽光パネルにより異なります。直並列数については弊社までお問い合わせください。

※3 無瞬断の定義は「電圧がゼロになる時間が1/4サイクル以下」(JEM-TR185,JEM-TR186)。

※4 停電、負荷状況によっては停電期間が単相2線品、又は、単相3線品で1/2サイクルに及ぶ可能性があります。また負荷運転継続の確実性を保証するものではありません。

4. 計測・通信仕様

項 目		仕 様
計測仕様	計測項目	交流側の計測機能は ①系統受電点 ②負荷出力点 ③双方向電源出力点 の3箇所でそれぞれ下記の項目が計測されます。 〔電圧実効値(平均と各相)、電流実効値(平均と各相)、 有効電力、無効電力、皮相電力、力率、周波数、 積算電力量(30分毎、1時間毎)〕 計測値はローカル表示器及び、上位通信で取得可能です。
		蓄電池バス側の計測機能は下記の項目が計測されます。 〔電圧値、電流、電力、積算電力量、 積算電力量(30分毎、1時間毎)〕
		BMSから吸上げた蓄電池情報も計測項目扱いとなります。
		最大電力点追従(MPPT)DC/DCコンバータユニットの計測情報も計測項目扱いとなります。 ^{※1}
		外部アナログ入力(4-20mA)による値も計測項目扱いとなります。 ^{※2}
計測精度	電圧計測(交流/直流): 各計測箇所フルスケールの0.5%以内 電流計測(交流/直流): 各計測箇所フルスケールの1.0%以内 電力計測(交流/直流): 各計測箇所フルスケールの1.0%以内	
ステータス	各種動作ステータス、警報ステータス	
上位通信	通信方式	RS-485 Modbus RTU LAN Modbus TCP (上記は選択式で同時アクセスはできません。)
	設定項目	運用モード、有効電力設定、運転開始・停止、蓄電池接続・遮断、 警報リセット、再連系許可、再連系後放電許可、 防災モード有効/無効、運転モード設定
通信 BMS	通信方式	CAN2.0B
	計測項目	BMSから吸上げた蓄電池情報 SOC、セル電圧、セル温度、オンラインパック数、他ステータスなど
通信 MPPT ※1	通信方式	CAN2.0B
	計測項目	PV電圧、PV電流、瞬時発電電力、積算電力量 外部アナログ入力(4-20mA)による値も計測項目扱いとなります。 ^{※2}

※1 最大電力点追従(MPPT)DC/DCコンバータユニットは工場出荷時のオプションです。

※2 外部電力計測入力、及び、最大電力点追従(MPPT)DC/DCコンバータユニット使用時の日射量センサ、温度センサ入力として使用可能です。

5. 一般仕様

項目	仕様	
電気共通	運転定格	100% 連続
	回路方式	双方向電源 : フル・ブリッジ回路
		MPPT DC/DCコンバータ : 昇圧チョップパ回路
	絶縁方式	双方向電源 : 商用周波絶縁方式
		MPPT DC/DCコンバータ : 非絶縁方式
	スイッチング方式	双方向電源 : 高周波PWM制御
		MPPT DC/DCコンバータ : 高周波PWM制御
	冷却方式	双方向電源 : ファンによる強制空冷
		MPPT DC/DCコンバータ : ファンによる強制空冷
	効率	双方向電源 : 95.5%以上 (定格運転時) ※ 蓄電池バス-双方向電源AC間にて
		MPPT DC/DCコンバータ : 98.5% (定格運転時)
	最大発熱量	双方向電源 : 9.4kW (定格運転時)
		MPPT DC/DCコンバータ : 2.3kW (定格運転時)
絶縁抵抗	系統ライン-筐体間 : DC500Vメガーにて10MΩ以上	
	蓄電池バス-筐体間 : DC1000Vメガーにて10MΩ以上	
	系統ライン-蓄電池バス間 : DC500Vメガーにて10MΩ以上	
	PV入力ライン-筐体間 : DC1000Vメガーにて10MΩ以上	
	※ SPD、制御基板は対象外	
耐電圧	系統ライン-筐体間 : AC2000V 1分間	
	蓄電池バス-筐体間 : AC2000V 1分間	
	系統ライン-蓄電池バス間 : AC2000V 1分間	
	PV入力ライン-筐体間 : AC2000V 1分間	
	※ SPD、制御基板は対象外	
騒音	70dB以下 (装置正面1m A特性)	
推奨接地	C種接地	
保護機構	入力開閉器	系統側メインラインにブレーカを装備
	出力開閉器	負荷側メインラインにブレーカを装備
	保守開閉器	保守・メンテナンス用ブレーカを装備
	系統メインMC	系統側メインラインに電磁接触器を装備 ※ 装置異常時に自動で解列
	系統側 SPD	AC用クラスⅡを装備
	PV入力側 SPD	DC用クラスⅡを装備
	突入電流防止機構	蓄電池バスに蓄電池接続時の突入電流抑制回路を内蔵
	直流地絡検出器	蓄電池バスに地絡検出回路を装備
	非常停止ボタン	装置前面扉表面に非常停止ボタンを装備

項 目		仕 様
外部 入出力	接 点 入 力	外部非常停止入力×1ch (オープン:非常停止 / クローズ:正常)
		逆電力(RPR)接点信号入力×1ch (クローズ:逆電力検出 / オープン:正常)
		地絡過電圧(OVGR)接点信号入力×1ch (クローズ:地絡過電圧検出 / オープン:正常)
		外部接点入力(汎用入力)×2ch ※接点入力容量 12VDC 10mA程度
		接 点 出 力
	無電圧C接点×2ch 以下の11項目から任意に選択可能 運転中、停止中、待機中、再連系許可待ち、停電中、軽故障、 中故障、重故障、デマンド警報、単独運転検出、SOC低下 ※接点容量AC250V/1A以下 または、DC30V/1A以下(抵抗負荷において)	
	アナログ入力 ※1	外部電力計測 : 4-20mA入力による外部電力計測有り (12mAを中心に±値と解釈) 負担抵抗180Ω
		PV日射量計測 : 4-20mA入力による日射量計測有り 負担抵抗360Ω
		PV温度計測 : 4-20mA入力による日射量計測有り 負担抵抗360Ω
		※ アナログ入力信号は装置内部と電氣的に絶縁
通信インターフェース	WEBみえる化システム : Ethernet (RJ-45)	
	上位通信 : RS-485 (M3.5ネジ端子台) Ethernet (RJ-45)	
周辺 条件	設 置 場 所	屋外
	周 囲 温 度	-10~40℃
	湿 度	15~85% (結露なきこと)
	雰 囲 気	塩害、塵埃、腐食性ガス等がなきこと
	標 高	1000m 以下
	振 動	なきこと
	氷 雪	扉の開閉に影響がないこと 吸気面に氷雪の侵入がないこと

※1 外部電力計測入力、及び、最大電力点追従(MPPT)DC/DCコンバータユニット使用時の日射量センサ、温度センサ入力として使用可能です。

項 目		仕 様
空調・IP等級※1	制御部 パワー素子	密閉構造 (IP54相当) ※2 熱交換器による冷却
	電力変換 ユニット	換気式 (IP44相当) ※2 ファンによる強制空冷
	トランス インダクタ	換気式 (IP44相当) 温度検知可変速ファンによる強制空冷
	蓄電池	蓄電池盤の仕様書を参照してください。
空調定格	熱交換器	定格260W
外観	外形寸法 ※3	1480 (W) × 2405 + 220 (D) [空調等] × 2320 + 150 [へ-ス] (H)
	質 量	3300 kg
	塗 装 色	マンセル 5Y 7 / 1 半ツヤ
	操作パネル位置	前面扉表面
	配線接続端子位置	前面扉内下部、及び、背面扉内
付属品	完 成 図 書	仕様書、外形図、単線図、取扱説明書、試験・検査成績書×1部
	接 続 配 線	通常、系統側接続配線、負荷側接続配線は 付属しておりません。

※1 塩害対策はオプションです。

※2 電力変換ユニットのヒートシンクの冷却面のみ換気式、パワー素子側は密閉構造となります。

※3 突起物は含みません。

<参考用>

仕 様 書

名 称	リチウムイオン蓄電池盤
型 式	YRW-2750-290JH4
仕様書番号	No.-

株式会社 **YAMABISHI**
YAMABISHI Corporation

1. 仕様

項 目		仕 様	
蓄電池仕様	種 別	リチウムイオン蓄電池	
	モジュール	セル 数	42 セル (14直列×3並列)
		公称電圧	DC 51.38V
		公称容量	217.5Ah 11.172kWh
	システム	モジュール数	26 モジュール (13直列×2並列 1092セル)
		公称電圧	DC667.94V (モジュール公称電圧51.38V×13直列)
		電池電圧範囲	DC546~764.4V
		使用電圧範囲	DC627.9~748V
		公称容量	435.0Ah (モジュール公称容量217.5Ah×2並列)
			290.472kWh (モジュール公称容量11.172kWh×13直列×2並列) 79170Ah・セル (モジュール公称容量÷3並列×1092セル)
実効容量		261.424kWh (運用範囲: SOC5~95%)	
最大許容電流	充放電: 266A (133A ×2並列)		
最大許容電力	充放電: 145.236kW (0.5CP) ※1		
BMS仕様	BBMS	蓄電池システム全体で何れかの蓄電池盤に一式搭載されます。	
	通信方式	上位通信およびRBMS: CAN	
	計測項目	SOC、セル電圧、セル温度、充放電電流、他ステータス	
	保護項目	過充電、過放電、過温度、セル電圧バランス異常、通信異常、その他	
周辺条件	設置場所	屋外	
	動作周囲温度	-10~40℃	
	保管周囲温度	-20~45℃	
	湿度	5~85% (結露なきこと)	
	雰囲気	塩害、塵埃、腐食性ガス等がなきこと	
	標高	1000m 以下	
	振動	なきこと	
空調・IP等級	蓄電池	扉の開閉に影響がないこと 吸気面に氷雪の侵入がないこと	
		密閉構造 (IP54相当) 盤クーラーによる冷却、及び、ヒーターによる保温 ※塩害対策はオプションです。	
空調定格	盤クーラー (ヒーター内蔵)	定格1,150/1,265W (50/60Hz)×4機	
外観	外形寸法	1400 (W) × 1500 + 140 (D) [空調等] × 2130 + 100 [へ-ス] (H)	
	電池盤全質量	2750 kg	
	塗装色	マンセル 5Y 7 / 1 半ツヤ	
	配線接続端子位置	前面扉内下部	

※1 充電率およびセル温度によって一定の制限がかかります。

最大でSOC60%以上のときに0.33CP、SOC70%以上のときに0.2CPの充電レート制限が発生します。

制限後は太陽光からの充電が優先されて行われます。

※2 突起物は含みません。

<参考用>

仕 様 書

名 称	リチウムイオン蓄電池盤
型 式	YRW-2750-145JH4
仕様書番号	No.-

株式会社 **YAMABISHI**
YAMABISHI Corporation

1. 仕様

項 目		仕 様	
蓄電池仕様	種 別	リチウムイオン蓄電池	
	モジュール	セル 数	42 セル (14直列×3並列)
		公 称 電 圧	DC 51.38V
		公 称 容 量	217.5Ah 11.172kWh
	システム	モジュール数	13 モジュール (13直列×1並列 546セル)
		公 称 電 圧	DC667.94V (モジュール公称電圧51.38V×13直列)
		電池電圧範囲	DC546～764.4V
		使用電圧範囲	DC627.9～748V
		公 称 容 量	217.5Ah
			145.236kWh (モジュール公称容量11.172kWh×13直列×1並列) 39585Ah・セル (モジュール公称容量÷3並列×546セル)
実効容量		130.712kWh (運用範囲: SOC5～95%)	
最大許容電流	充放電: 133A		
最大許容電力	充放電: 145.236kW (0.5CP) ※1		
BMS仕様	BBMS	蓄電池システム全体で何れかの蓄電池盤に一式搭載されます。	
	通信方式	上位通信およびRBMS: CAN	
	計測項目	SOC、セル電圧、セル温度、充放電電流、他ステータス	
	保護項目	過充電、過放電、過温度、セル電圧バランス異常、通信異常、その他	
周辺条件	設置場所	屋外	
	動作周囲温度	-10～40℃	
	保管周囲温度	-20～45℃	
	湿度	5～85% (結露なきこと)	
	雰囲気	塩害、塵埃、腐食性ガス等がなきこと	
	標 高	1000m 以下	
	振 動	なきこと	
空調・IP等級	蓄 電 池	扉の開閉に影響がないこと 吸気面に氷雪の侵入がないこと	
		密閉構造 (IP54相当) 盤クーラーによる冷却、及び、ヒーターによる保温 ※塩害対策はオプションです。	
空調定格	盤クーラー (ヒーター内蔵)	定格1,150/1,265W (50/60Hz)×2機	
外 観	外形寸法 ※2	1400 (W) × 1500 + 140 (D) [空調等] × 2130 + 100 [へース] (H)	
	電池盤全質量	1750 kg	
	塗 装 色	マンセル 5Y 7 / 1 半ツヤ	
	配線接続端子位置	前面扉内下部	

※1 充電率およびセル温度によって一定の制限がかかります。

最大でSOC60%以上のときに0.33CP、SOC70%以上のときに0.2CPの充電レート制限が発生します。

制限後は太陽光からの充電が優先されて行われます。

※2 突起物は含みません。